

近畿中国森林管理局

## 箕面森林環境保全ふれあいセンター・こだま通信

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

## 里山シンポジウム開催(第29回全国育樹祭(兵庫県)記念行事)

10月1日(土)、神戸市において、「里山シンポジウム」を兵庫県との共催により開催しました。

第1部では、京都大学名誉教授の河合雅雄氏が、「森に還ろう」をテーマに、自然科学の分野から森林と人との関係を捉えた基調講演を行い、第2部では「これからの里山と暮らし」をテーマに、暮らしに深く関わってきた里山について、過去、現在、将来の視点からのパネルディスカッションを行いました。最後には「将来、継続的に里山を整備、管理していくためには、森林環境教育、住民参加型の森林づくり活動や生活の中での木材利用の促進等が重要」との意見で締めくくられました。

[参加人数:362名]



## 不登校生徒のための森林体験活動



10月25日(火)、箕面国有林「遊々の森きらきら」において、箕面市内の不登校生徒を対象とした森林体験活動を実施しました。この活動は、森林の中での間伐作業体験、自分達で伐採した間伐材を使った丸太橋作り、野外ゲーム等を通じて、生徒の五感を刺激することにより、癒しなどの心身への効果等を期待するものです。

参加した生徒からは、「ノコギリを初めて使って、間伐の大変さがわかった。」、「自分たちで作った丸太橋を渡って感激した。」などの感想が聞かれました。

## 里山整備に関する意見交換会の開催

10月25日(火)、箕面国有林の「都市型里山モデル林」において、当局と3府県(大阪府・京都府・滋賀県)との覚書(※)に基づいた「里山整備に係る意見交換会」が開催されました。これは、ボランティアによる森林保全活動の支援のための民有林・国有林の連携の進め方等を検討するために実施されたものです。

当センターから、里山再生の取組について説明を行った後、このモデル林を整備しているNPO日本森林ボランティア協会の事務局長を交えて意見を交換しました。参加者からは、「森林づくり活動に関するきめ細かな情報提供が必要である。」、「森林ボランティア団体のネットワーク化が課題である。」などの意見がありました。(※:琵琶湖・淀川流域における森林環境の保全・整備に関する覚書)



近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター

TEL:075-414-9049/FAX:075-414-9029

URL:http://www.kinki.kokuyurin.go.jp

〒603-8054 京都市上京区西洞院通り下長者町下ル 京都農林水産総合庁舎1F



国民の森林・国有林